

## 平成26年度保健所管理栄養士政策能力向上シンポジウム開催要領

目 的	<p>&lt;背景&gt;</p> <p>今後10年の健康づくり施策の基本となる「健康日本21（第二次）」が平成25年にスタートしたことを踏まえ、一層の推進が図られ、成果が得られるよう「地域における行政栄養士による健康づくり及び栄養・食生活の改善の基本指針」が示された。</p> <p>行政栄養士はこの基本指針を踏まえ、健康づくり及び栄養・食生活施策の成果を得るため、地域の健康課題を総合的に分析し、健康課題の背景にある食習慣や食環境を明確にした上で、課題解決に向けた施策構築と同時に評価体制を構築する必要があるが、「健康課題の背景にある食習慣や食環境」を明らかにするそのプロセスについては更なる実践と検証が必要である。</p> <p>&lt;目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 成果を出す施策構築のために必要な「地域の健康課題の総合的分析」及び「健康課題の背景にある食習慣や食環境の特定」を効果的に行う体制やプロセスについて考える。</li> <li>○ 成果を出す施策を構築・推進するために多職種、市町村、大学及び関係機関との有機的な連携を考える。</li> </ul>
主 催	一般財団法人 日本公衆衛生協会
開催期日	平成27年1月30日（金）10：30～16：30
会 場	アルカディア市ヶ谷（私学会館）
対象者	都道府県・指定都市・中核市・政令市・特別区が設置する保健所及び本庁に勤務する管理栄養士等 150名（先着順） ※保健所指導経験年数は問わない
参加費	無料
テーマ	「成果が見える施策構築のために 食習慣の特徴をどのように捉えるか？解決のためにどう繋がるか？」
内 容	<p>1 開会</p> <p>主催者挨拶：一般財団法人日本公衆衛生協会 理事長 篠崎 英夫 来賓挨拶：厚生労働省健康局がん対策・健康増進課 課長 正林 督章 氏</p> <p>2 基調講演</p> <p>「健康日本21（第二次）の進捗状況と栄養・食生活分野への期待」 厚生労働省健康局がん対策・健康増進課 栄養指導室 室長補佐 芳賀 めぐみ 氏</p> <p>3 シンポジウム</p> <p>テーマ 「成果が見える施策構築のために 食習慣の特徴をどのように捉えるか？解決のためにどう繋がるか？」</p> <p>座 長：愛知県一宮保健所 所長 澁谷 いづみ 氏 助言者：新潟県立大学人間生活学部 健康栄養学科 教授 村山 伸子 氏</p> <p>発表者：① 地域保健総合推進事業「健康日本21（第二次）の推進における健康づくり及び栄養・食生活改善に関する効果的施策展開に関する研究」取組報告 新潟県上越地域振興局健康福祉環境部 主査 磯部 澄枝</p> <p>② 栄養・食生活改善のために取り組むべき課題の検討 ～ 宮崎県の取組 ～ 宮崎県中央保健所 主任技師 押川 裕衣 氏</p> <p>③ 「食」による高齢者の元気と絆づくりを 支援するための要因分析と体制整備 群馬県健康福祉部食品安全局食品安全課 係長 阿部 絹子 氏</p> <p>④ ソフト事業「見える化」への試み ― 大阪府立健康科学センター、大阪府立大学公衆栄養実践研究センター、千葉県衛生研究所での取組 ― 大阪府立大学 客員教授、千葉県衛生研究所 技監 佐藤 眞一 氏</p> <p>4 情報提供</p>